

世界規模の英語能力ベンチマーク「EF EPI 英語能力指数 2019 年版」 日本の順位は 100 か国中 53 位、対象国拡大に伴う順位下落が顕著に

世界 110 か国以上で海外留学、語学教育、学習研究、文化交流、教育旅行事業を展開する国際教育事業のリーディングカンパニー、イー・エフ・エデュケーション・ファースト(日本法人イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:サンチヨリ・リー)、以下「EF」)は本日、世界 100 か国・地域、230 万人の英語テストビッグデータを活用した、英語能力のベンチマーク、「EF EPI 英語能力指数 2019 年版」を公開しました。

EF EPI 英語能力指数(EF English Proficiency Index)は、EF が公開・提供する無料のオンライン英語能力測定テスト EF SET (www.efset.org/ja/) の前年度受験データを元に、非英語圏の国と地域¹における英語能力を経年的に計測・追跡するためのベンチマークとして毎年発表しているもの。指数 (EF EPI スコア) の世界ランキングと、指数分布をもとに全参加国の英語レベルを 5 段階に分けた英語能力レベル²、EPI 指数と外部指標の比較や国・地域別動向をまとめた分析レポートから構成されており、2011 年の初版以降これまでに 8 版が公開されています。

受験者数 230 万人、調査対象国 100 か国・地域へと拡大した 2019 年のランキングでは、オランダが世界ランク 1 位に返り咲いたほか、5 段階の能力レベル最高位の「非常に高い英語能力」に位置付けられた国は過去最高の 14 か国に上り、世界全体の英語能力は引き続き上昇傾向にあることが示されました。一方、日本の英語能力指数は前年より 0.29 ポイント下落の 51.51 (前年実績 51.80)、順位は 100 か国中 53 位(同 49 位)となり、参加国の拡大にともなう順位下落が顕著な結果となりました。

なお 2019 年版レポートに合わせて、13~22 歳までの全日制学校に通う 35 万人の学生の英語能力テスト結果を分析した関連レポート「EF EPI-s」も同時に公開されています。

○ EF EPI 英語能力指数 2019 年版の主なポイントは以下の通りです:

1. 参加国・地域の拡大にともない日本のランキング下落が顕著に

2011 年の初版では、全 44 か国中 14 位(EF EPI スコア 54.17、「標準的な英語能力」)であった日本の順位は、9 年連続で下落。最新版では、全 100 か国中 53 位(EPI スコア 51.51、「低い英語能力」)となり、参加国・地域の拡大にともなう順位下落と受験者数拡大によるスコア下降が鮮明になりました。

2. 受験者数は対前年 77%アップの 230 万人、調査対象国・地域は 100 か国に拡大

アジア、アフリカ地域を中心に調査対象が 12 か国増え、総参加国は 100 か国・地域に拡大。前年比で EF EPI スコアが大幅に上昇(2 ポイント以上)した国は 11 か国に上る一方、大幅な下落はわずか 4 か国にとどまりました。「非常に高い英語能力レベル」に位置付けられた国は過去最多の 14 か国となり、世界全体の英語能力は引き続き上昇傾向にあることが見てとれました。

¹ 本指標には、受験者数が 400 人を超える国・地域・都市のデータのみを使用しています。多くの国において受験者数は 400 人を大きく上回っており、合計 100 の国と地域が調査対象に含まれています

² EF EPI スコアの分布を基に、国や地域、都市をそれぞれ 5 段階の英語能力レベル(「非常に高い」「高い」「標準」「低い」「非常に低い」)に分類しています

3. あらゆる業界で英語に対する需要は高く、職種間の英語能力差は固定化傾向に

行政サービス、教育事業を除く多くの業種間の英語能力の差は、最大で EPI スコア 10 ポイント以内に収まっており、あらゆる業種で英語ニーズが高いことがうかがえます。一方、流通・販売や総務・事務などある一定の職種では他の職種に比べ平均的な英語能力が大幅に低く、職務間の差が顕著になりつつあります。

4. 学校向けレポート「EF EPI-s」では年齢や学習過程、スキル別の英語習得状況を分析

関連レポート EF EPI-s では、43 か国、数千校に在籍する 35 万人の学生の受験データをもとに英語スキルの習得状況を分析、公開しています。全学生の傾向として、リーディングスキルよりもリスニングスキルが先行して上達する傾向にあり、年齢が上がるにつれてその差は顕著になっていきます。また 13 歳までの英語能力に大きな差はないものの、14～15 歳の 2 年間の伸びに大きな差が見られ、16 歳までに CEFR B1 以上を達成している学生はその後継続して英語能力が伸びる傾向にあり、逆に 16 歳以降に低い英語レベル(CEFR A1～A2)を脱却しより高いレベルに達成する生徒の数はかなり少なくなります。

EF EPI 英語能力指数 2019 年版の公開を受け、EF 代表取締役社長サンチョリ・リーは「今年のレポートでも、日本と他国との相対的な差が顕著に表れる結果となりました。2020 年から学校の英語教育が変わりますが、学校や地域など学習グループごとの語学習得状況を測ることができれば、より効果的な学習法やカリキュラムの開発につながると期待しています。また、弊社の英語テスト EF SET では、安定的なオンライン環境さえ整えば誰でも、いつでも、何度でも受験することが可能です。既存テストが抱える地理的制約や受験料への懸念もありません。ぜひ一人でも多くの語学学習者に、CEFR 基準に照らして今の自分の立ち位置を知るツールとして活用してほしい」とコメントしています。

なお、EF EPI 英語能力指数 2019 年のランキングおよびレポート全文は、以下のサイトでご覧いただけます。<http://www.efjapan.co.jp/epi/>

以上

EF EPI 英語能力指数について

EF EPI は、前年度に実施された英語能力テストの結果データに基づき、英語能力を経年的に計測、追跡する世界規模のベンチマークとして開発された指数で、無料の英語能力測定テストから得られるビッグデータを利用することで、世界規模の広範かつ標準化された指標データを提供できるのが特徴です。また、語学の熟達度を測る国際基準 CEFR に準じているため、TOEFL や TOEIC、IELTS など既存のスコアへの換算も可能です。

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社について

1965 年に『Education First（教育を第一に）』をモットーにスウェーデンで設立したイー・エフ・エデュケーション・ファーストは、従業員 5 万 2 千人（そのうち約半数の 2 万 5 千人は講師）を有する世界最大規模の私立教育機関です。現在、世界各地に 600 を超える事業拠点、および 21 か国（11 言語に対応）に 52 校の直営語学学校を有し、語学留学プログラム等、グローバルに教育事業を展開しています。EF では、第二言語習得における学習研究にも注力し、各地の大学と共同研究を進めるほか、独自の英語能力テストや英語能力指数、学習ツールの開発・提供にも努めています。また、50 年以上にわたり蓄積されたノウハウをベースに、国内外で様々な教育機関、官公庁、自治体、企業に対する語学トレーニング支援事業も行っています。<http://www.efjapan.co.jp/>

本件に関する報道関係のお問い合わせ

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社

担当: PR マネージャー遠藤 玲奈 TEL: 050-1743-1441 E-mail: reina.endo@ef.com

添付資料

2019 年 EF EPI 英語能力指数 世界ランキング

順位	国と地域	EF EPI スコア	英語能力 レベル	順位	国と地域	EF EPI スコア	英語能力 レベル
1	オランダ	70.27	非常に高い	51	ボリビア	51.64	低い
2	スウェーデン	68.74	非常に高い	52	ベトナム	51.57	低い
3	ノルウェー	67.93	非常に高い	53	日本	51.51	低い
4	デンマーク	67.87	非常に高い	54	パキスタン	51.41	低い
5	シンガポール	66.82	非常に高い	55	バーレーン	50.92	低い
6	南アフリカ	65.38	非常に高い	56	ジョージア	50.62	低い
7	フィンランド	65.34	非常に高い	57	ホンジュラス	50.53	低い
8	オーストリア	64.11	非常に高い	58	ペルー	50.22	低い
9	ルクセンブルグ	64.03	非常に高い	59	ブラジル	50.10	低い
10	ドイツ	63.77	非常に高い	60	エルサルバドル	50.09	低い
11	ポーランド	63.76	非常に高い	61	インドネシア	50.06	低い
12	ポルトガル	63.14	非常に高い	62	ニカラグア	49.89	低い
13	ベルギー	63.09	非常に高い	63	エチオピア	49.64	低い
14	クロアチア	63.07	非常に高い	64	パナマ	49.60	低い
15	ハンガリー	61.86	高い	65	チュニジア	49.04	低い
16	ルーマニア	61.36	高い	66	ネパール	49.00	低い
17	セルビア	61.30	高い	67	メキシコ	48.99	低い
18	ケニア	60.51	高い	68	コロンビア	48.75	低い
19	スイス	60.23	高い	69	イラン	48.69	低い
20	フィリピン	60.14	高い	70	アラブ首長国連邦	48.19	非常に低い
21	リトアニア	60.11	高い	71	バングラデシュ	48.11	非常に低い
22	ギリシャ	59.87	高い	72	モルディブ	48.02	非常に低い
23	チェコ共和国	59.30	高い	73	ベネズエラ	47.81	非常に低い
24	ブルガリア	58.97	高い	74	タイ	47.61	非常に低い
25	スロバキア	58.82	高い	75	ヨルダン	47.21	非常に低い
26	マレーシア	58.55	高い	76	モロッコ	47.19	非常に低い
27	アルゼンチン	58.38	高い	77	エジプト	47.11	非常に低い
28	エストニア	58.29	高い	78	スリランカ	47.10	非常に低い
29	ナイジェリア	58.26	高い	79	トルコ	46.81	非常に低い
30	コスタリカ	57.38	標準的	80	カタール	46.79	非常に低い
31	フランス	57.25	標準的	81	エクアドル	46.57	非常に低い
32	ラトビア	56.85	標準的	82	シリア	46.3	非常に低い
33	香港特別行政区	55.63	標準的	83	カメルーン	46.28	非常に低い
34	インド	55.49	標準的	84	クウェート	46.22	非常に低い
35	スペイン	55.46	標準的	85	アゼルバイジャン	46.13	非常に低い
36	イタリア	55.31	標準的	86	ミャンマー	46.00	非常に低い
37	韓国	55.04	標準的	87	スーダン	45.94	非常に低い
38	台湾	54.18	標準的	88	モンゴル	45.56	非常に低い
39	ウルグアイ	54.08	標準的	89	アフガニスタン	45.36	非常に低い
40	中国	53.44	標準的	90	アルジェリア	45.28	非常に低い
41	マカオ特別行政区	53.34	標準的	91	アンゴラ	44.54	非常に低い
42	チリ	52.89	標準的	92	オマーン	44.39	非常に低い
43	キューバ	52.70	標準的	93	カザフスタン	43.83	非常に低い
44	ドミニカ共和国	52.58	標準的	94	カンボジア	43.78	非常に低い
45	パラグアイ	52.51	標準的	95	ウズベキスタン	43.18	非常に低い
46	グアテマラ	52.50	標準的	96	コートジボワール	42.41	非常に低い
47	ベラルーシ	52.39	低い	97	イラク	42.39	非常に低い
48	ロシア	52.14	低い	98	サウジアラビア	41.60	非常に低い
49	ウクライナ	52.13	低い	99	キルギス	41.51	非常に低い
50	アルバニア	51.99	低い	100	リビア	40.87	非常に低い